



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 新光商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志 (TEL) 03-6361-8111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	93,629	4.7	3,388	6.7	3,387	△0.6	2,267	0.1
2023年3月期第2四半期	89,449	52.7	3,174	180.2	3,408	197.5	2,266	183.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,303百万円(△4.7%) 2023年3月期第2四半期 4,516百万円(491.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.53	—
2023年3月期第2四半期	64.93	—

1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は、自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間510,300株、当第2四半期連結累計期間477,386株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間344,900株、当第2四半期連結累計期間320,929株、控除して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	109,243	55,527	50.1
2023年3月期	98,827	52,560	52.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 54,768百万円 2023年3月期 51,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	40.00	69.00
2024年3月期	—	26.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	26.50	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△5.1	5,000	△29.9	5,000	△26.9	3,500	△25.6	105.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	38,010,566株	2023年3月期	38,010,566株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,909,105株	2023年3月期	4,933,439株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	33,091,475株	2023年3月期2Q	34,906,813株

1. 期末自己株式には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期481,800株、2024年3月期2Q471,500株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期330,900株、2024年3月期2Q316,800株含まれております。
2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式が、2023年3月期2Q510,300株、2024年3月期2Q477,386株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期2Q344,900株、2024年3月期2Q320,929株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかに回復していますが、ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ、中国経済の先行き懸念など引続き不透明感が強い状況となっております。

エレクトロニクス業界におきましては、EV化の進展やDX化推進を背景とした需要はあるものの、コロナ禍の大幅な需要増の反動による在庫調整の動きが見られる状況です。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、娯楽機器関連・自動車電装機器関連・産業機器関連において前年同期比を上回る実績となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高936億29百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益33億88百万円（同6.7%増）、経常利益33億87百万円（同0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億67百万円（同0.1%増）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

自動車電装機器関連・娯楽機器関連・産業機器関連が堅調に推移いたしました。

以上の結果、半導体の売上高は572億91百万円（前年同期比9.6%増）、電子部品の売上高は244億6百万円（前年同期比12.3%減）、電子部品事業全体の売上高は816億98百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

アセンブリ事業

娯楽機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、アセンブリ製品の売上高は99億97百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

その他の事業

その他事業全体としては、ほぼ横ばいとなりました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は19億33百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,092億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億16百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が66億89百万円、未収入金が17億95百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が17億90百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、537億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億49百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が45億80百万円、支払手形及び買掛金が22億円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は555億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億66百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が16億1百万円、利益剰余金が9億12百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は52.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が35億31百万円(前期比2.5%増)となり、短期借入れによる収入、仕入債務の増加等があったものの、棚卸資産の増加、未収入金の増加、売上債権の増加、配当金の支払等があったことにより、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末においては105億61百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、39億68百万円(前期は38億8百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が35億円、仕入債務の増加28億76百万円の収入等があったものの、棚卸資産の増加57億6百万円、未収入金の増加18億43百万円、売上債権の増加6億47百万円、法人税等の支払額14億33百万円の支出等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、2億92百万円(前期は76百万円の獲得)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入2億85百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、31億10百万円(前期は31億75百万円の獲得)となりました。これは主に配当金の支払13億51百万円の支出等があったものの、短期借入による収入44億99百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました、連結売上高1,700億円、営業利益50億円、経常利益50億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,929	10,776
受取手形、売掛金及び契約資産	38,531	40,321
商品及び製品	31,384	38,074
仕掛品	48	30
未収入金	11,679	13,474
その他	188	244
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	92,720	102,879
固定資産		
有形固定資産	771	751
無形固定資産	386	342
投資その他の資産		
投資有価証券	3,458	3,740
繰延税金資産	228	234
その他	1,262	1,295
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,949	5,270
固定資産合計	6,107	6,364
資産合計	98,827	109,243
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,061	18,261
電子記録債務	2,350	3,786
短期借入金	9,025	13,606
1年内返済予定の長期借入金	1,600	600
未払法人税等	1,477	1,158
未払金	3,621	2,560
賞与引当金	785	782
役員賞与引当金	129	51
その他	1,901	2,235
流動負債合計	36,952	43,042
固定負債		
長期借入金	7,200	8,200
繰延税金負債	398	699
役員株式報酬引当金	108	115
従業員株式報酬引当金	322	400
退職給付に係る負債	815	805
その他	469	453
固定負債合計	9,314	10,674
負債合計	46,266	53,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,599	9,599
利益剰余金	33,577	34,489
自己株式	△4,608	△4,589
株主資本合計	48,070	49,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,063	1,439
繰延ヘッジ損益	△0	2
土地再評価差額金	△61	△61
為替換算調整勘定	2,762	4,364
退職給付に係る調整累計額	25	22
その他の包括利益累計額合計	3,789	5,767
非支配株主持分	700	758
純資産合計	52,560	55,527
負債純資産合計	98,827	109,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	89,449	93,629
売上原価	81,468	85,214
売上総利益	7,981	8,415
販売費及び一般管理費	4,806	5,027
営業利益	3,174	3,388
営業外収益		
受取利息	5	23
受取配当金	54	64
仕入割引	4	0
為替差益	191	—
雑収入	57	32
営業外収益合計	312	121
営業外費用		
支払利息	66	91
為替差損	—	21
自己株式取得費用	10	—
雑支出	1	9
営業外費用合計	78	122
経常利益	3,408	3,387
特別利益		
固定資産売却益	39	—
投資有価証券売却益	—	83
関係会社清算益	—	69
特別利益合計	39	152
特別損失		
固定資産除売却損	1	8
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	3,446	3,531
法人税等	1,130	1,213
四半期純利益	2,315	2,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,266	2,267

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,315	2,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	375
繰延ヘッジ損益	△1	3
為替換算調整勘定	2,159	1,609
退職給付に係る調整額	3	△3
その他の包括利益合計	2,201	1,984
四半期包括利益	4,516	4,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,457	4,244
非支配株主に係る四半期包括利益	59	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,446	3,531
減価償却費	162	167
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△77
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	17	7
従業員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	62	77
賞与引当金の増減額 (△は減少)	120	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	△10
受取利息及び受取配当金	△59	△88
支払利息	66	91
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△37	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△83
関係会社清算損益 (△は益)	—	△69
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,219	△647
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,135	△1,843
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,305	△5,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,106	2,876
未払消費税等の増減額 (△は減少)	830	△381
その他の資産・負債の増減額	2,681	△482
その他非資金取引	△224	75
小計	△2,725	△2,554
利息及び配当金の受取額	59	88
利息の支払額	△54	△68
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,088	△1,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,808	△3,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
投資有価証券の売却による収入	—	285
有形固定資産の取得による支出	△66	△76
有形固定資産の売却による収入	190	—
無形固定資産の取得による支出	△15	△33
関係会社の清算による収入	—	131
その他投資資産の取得による支出	△33	△15
その他投資資産の売却・解約による収入	9	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	76	292

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,985	4,499
短期借入金の返済による支出	△7,854	—
自己株式の取得による支出	△2,563	△0
リース債務の返済による支出	△38	△37
配当金の支払額	△1,353	△1,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,175	3,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	679	381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123	△184
現金及び現金同等物の期首残高	10,579	10,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,702	10,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	80,087	7,416	1,945	89,449	—	89,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	80,087	7,416	1,945	89,449	—	89,449
セグメント利益	4,138	27	83	4,249	△1,075	3,174

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,075百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,698	9,997	1,933	93,629	—	93,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	81,698	9,997	1,933	93,629	—	93,629
セグメント利益	3,925	409	192	4,527	△1,139	3,388

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,139百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,139百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。